

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月23日更新

事務事業名	工業団地整備事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	6 産業の健康	所属部	産業振興部	課長名	牧野 淳一
	施策	28 企業誘致の促進と働く場の確保	所属課	商工振興課	担当者名	松井 智則
	施策の柱	74 企業誘致の促進	所属班	商工振興班	(内線)	5214
予算科目	会計一般	款 7 項 1 目 3 事業連番 11720 根拠法令				
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 29 ~ 8 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	地域経済の活性化および雇用の創出を目的として、工業団地の新設を行なう。工業用適地の調査、選定、基本計画・基本設計【H30】実施設計、地質調査、測量【R元】地区計画策定・開発許可申請、用地買収【R2】造成工事一分譲。平成31年3月22日付で、予算執行と経理の区別を明確にするため「工業団地整備事業特別会計条例」を制定した。【R3】セミコンテックパーク西側に(仮称)東部工業団地の整備計画を進めており、R2には基本設計、今年度中には地質調査を実施する。
【業務の流れ】	工業用適地選定(地理的条件、法的規制条件、周辺インフラ、用地取得条件等を勘案)、基本計画策定、基本設計、土地鑑定評価、用地買収、実施設計、地質調査、測量、地区計画策定・開発許可申請、造成工事、分譲
【主な予算費目】	委託料、工事費、人件費、需用費
【意見や要望】	企業から整備された市有の工業団地に関する問い合わせが多い

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	(仮称)東部工業団地の基本設計を実施した。また、工業団地特別会計へ繰出金を支出した。	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) セミコンテックパーク西側への(仮称)東部工業団地整備計画を進めており、次年度は用地測量を計画している。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件 ア: 調査・計画から分譲にかかる委託数 イ:	予算の主な増減の理由 工業団地基本設計業務の完了による委託料の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	工業団地候補地	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 箇所 ア: 工業団地候補地 イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	工業団地として整備され、分譲できるようにする。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) ha ア: 整備面積 イ:
*③成果指標設定の理由と 3年度目標値設定の根拠 安定して働ける。		総トータルコスト 全体計画 ~ 8年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	30年度 実績(決算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	4年度 予定	5年度 見込	6年度 見込	
① 活動指標	ア 件		0	1	1	0	1	1	1	1	
② 対象指標	ア 箇所		1	1	1	1	1	1	1	1	
③ 成果指標	ア ha		0	10	10	0	10	10	10	10	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円				7,169				
		地方債	千円								
		その他	千円		55,739						
		繰入金	千円								
	一般財源		千円	35,217	10,707	29,262	18,122	12,771			
	(A) 事業費計		千円	35,217	66,446	29,262	25,291	12,771	0	0	0
	(A)のうち指定経費		千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤		千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数		人	4	4	0	4	0	0	0	0
延べ業務時間		時間	1,585	958	0	1,000	0	0	0	0	
(B) 人件費計		千円	6,248	3,796	0	3,943	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	41,465	70,242	29,262	29,234	12,771	0	0	0	

事務事業名	工業団地整備事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は2年度の事後評価、ただし複数年度事業は2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 計画通りに業務を遂行した。(用地買収完了、栄第2工業団地予定地の解体整地、調整池設置工事)
	② 3年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 計画通りに業務を遂行している。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 栄第2工業団地については、早期の分譲・完売に向けて取り組みを強化することで向上の余地がある。また今後の工業団地整備計画について、丁寧に関係者協議を行ない基本設計を進める。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 工業団地整備を行っている事業は他には無い。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 常に事業費の精査を行っており最低限必要な手続きにより事業を進めている。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 開発にかかる諸手続きに必要な業務は外部委託しており、地権者との交渉は市が直接行うべきである。(最小の人員で担当しており、削減余地はない。)
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 工業団地整備にかかる費用は分譲売価に含んで売却するため、適正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の企業誘致事業として取り組んでおり、適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

栄第2工業団地は、関係権利者(地権者、水利権者、隣接工業団地協同組合)等との調整を図りつつ、予定通りに整備を進めており、早期の工業団地分譲に結びつき、成果の向上は著しい。今後、進出企業の動向、意欲が心配されるが、好立地条件を元に誘致を進める。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						